

都市環境学科特別講演会(平成 26 年度第 2 回)

「人間の豊かさの持続戦略、 近自然学入門」

講師 山脇正俊 北海道科学大学客員教授
スイス近自然学研究所代表

日時・場所 7月24日(木) 13:00~15:00
合同講義室 (5106)

都市環境学科では、全学年の学生を対象とした特別講演会を年数回開催しています。今回は、都市環境学科の客員教授の山脇正俊氏による講演会を開催します。また、この授業は講師のご了解をいただいておりますので教職員の皆様への公開授業といたします。

講演の内容 近自然学とは、『今まで対立関係にあった環境と我々の豊かさを両立させる』こと、または『両立させるように考える』こと。その理念が 近自然、体系化した原則が 近自然学、その応用が 近自然工学、そして実践が 近自然工法。近自然学と、その応用としての、まちづくり、道づくり、川づくり、エネルギー利用、農林水産業、ビジネス、教育、社会システム、森づくりの中から幾つかを解説いただきます。

講師略歴

1978年 早稲田大学大学院理工学研究科後期博士課程でスイス連邦立チューリッヒ工科大学高電圧研究室へ客員研究員として招かれ、以後永住。

1986年 近自然川づくり（ドイツ語から連想した山脇氏の命名）に出会う。

『近自然川づくり』は 1970 年代にスイス・チューリッヒ州とドイツ・バイエルン州で始まった環境と人間の双方に配慮した新しい川づくり。

以後、近自然理念・近自然工法などを体系化に取り組み、ヨーロッパにおける環境共生の新しい波の現状とその背景を集大成して解説を加え、日本に伝える活動に従事。

1997年の日本における河川法の改正に大きな影響を与える。

2004年 北海道工業大学（現：北海道科学大学）客員教授 現在に至る